

比内養護学校 高等部 キャリア発達と関連づけた進路学習の年間指導計画

キャリア発達の段階		職業及び卒業後の家庭生活に必要なスキルを実際に働く生活を想定して具体的に適用するためのスキル獲得の時期			
		1年	2年	3年	領域・教科
ね ら い 暮 らす	知る	・自分の長所や友達の長所を知り、肯定的な自己理解や他者理解をすすめる。	・自分の長所や短所を理解し、自己調整を図る力を養うとともに、他者の考えや個性を理解する。	・卒業後の自分を想定し、自分の好きなことや目標をかなえるための将来設計をする。	生活単元学習 (区切りの時期に)
	働く	・働く生活に必要な知識や技術を獲得するとともに、継続的な職場見学を通して進路に関する情報を収集する。	・継続的な職場体験を通して、知識や技術の向上を図るとともに、様々な業種に対する自らの適性を判断する。	・職場でのきまりやマナーを知り、適切に実践するとともに、社会人として働くことの意義を理解する。	教科「職業」
	楽しむ	・個人、または集団での余暇の楽しみ方を知り、実践する。	・周囲との適切なコミュニケーションの取り方や、楽しく生活するための余暇・休日の過ごし方を身に付ける。	・社会人としてのマナーを守りながら、それぞれの地域の実情に合わせた有意義な余暇や休日の過ごし方を実践する。	生活単元学習 (学級単位で計画を立て、福祉グループと合同で行う)
	暮らす	・交通機関の利用、金銭の取り扱い、健康に関する知識など、暮らしの基本を確実に身に付ける。	・交通機関の利用、買い物などを一人でできるようにするとともに、場に応じた言動ができる。	・社会の様々な制度やサービスに関する理解をすすめる、関連機関の利用の仕方を知る。	関連する進路活動
4月	進路学習オリエンテーション(2)【将】進路計画 ・学年・グループ毎の年間進路計画 進路学習内容 年間進路目標 1年後の到達点				・進路相談(高3)
	自分を見つめよう(4)【人】自己理解 【意】目標設定、選択(決定、責任)、ふり返り、肯定的な自己評価、自己調整 ・新しい学年になった自分 ・自分の年間進路目標を決めよう ・得意なこと ・好きなこと				
	学級の友達、係、リーダー、共同製作(12)【人】他者理解、協力、共同 【将】役割の理解と実行 ・プロフィール作り ・学級の係 ・リーダー ・学級掲示物の共同製作				
	余暇をみんなで楽しもう、広げよう①(8)【人】他者理解 【将】生きがい・やりがい 【意】選択、自己調整 ・スポーツ ・読書 ・音楽 ・調理 ・携帯電話 ・パソコン …自分たちの興味関心に基づいた計画と実践。				
5月	職場のマナー(基礎編)(8) ～言葉づかい、あいさつ、姿勢【情】働くことの意義【人】場に応じた言動	職場のマナー(応用編)(8) ～職場のきまり【情】働くことの意義【人】場に応じた言動	職場のマナー(実践編)(8) ～上下関係、人付き合い【情】働くことの意義【人】場に応じた言動	・求職登録及び就職活動説明会(高3保護者) ・現場地元実習説明会(高2保護者) ・実習説明会(高1保護者)	
	でかけよう①(8)【人】意思表示、場に応じた言動 【情】社会のきまり、金銭の扱い・管理、消費生活の理解、法や制度の理解 ・公共施設 ・レジャー施設 ・買い物(食品、生活用品、家電、その他) ・福祉関連施設 …段階や時期に応じて。				
	健康的な生活①～食と栄養(4)【将】習慣形成	楽しい生活①～コミュニケーション(4)【将】習慣形成	働く生活①～トラブル対応(4)【将】習慣形成		
6月	前期実習事前・事後学習(24)【人】【情】【将】【意】 ・事前学習(学年・個人目標設定、課題、目標・手立て決め、実習日誌作成、実習先調べ、通勤方法確認、作業内容、日程確認、事前挨拶、トラブル解決の方法、結団式…など) ・事後学習(目標の振り返り、自己評価、他者評価、次回に向けての自己調整、職業適性、働く生活に向けての期待感、解散式…など)			・前期実習(2～3週間) ・進路後援会	
7月	職場見学①(12)【人】場に応じた言動【情】働くことの意義	職場体験①(12)【人】自己理解【情】働くことの意義		・技能競技大会 ※高3のみ修学旅行のため時数減	
	でかけよう②(8)【人】意思表示、場に応じた言動 【情】社会のきまり、金銭の扱い・管理、消費生活の理解、法や制度の理解 ・公共施設 ・レジャー施設 ・買い物(食品、生活用品、家電、その他) ・福祉関連施設 …段階や時期に応じて。				
	健康的な生活②～清潔(4)【将】習慣形成	楽しい生活②～仕事と余暇(4)【将】習慣形成	夏季実習事前学習(8)【人】【情】【将】【意】		
8月	いろいろな仕事調べ①(15) ～福祉事務所やハローワークの情報から【情】情報収集と活用	働く生活について知ろう①(15) ～働いている先輩へのインタビューなど【情】情報収集と活用【情】働くことの意義	夏季実習事後学習(8)【人】【情】【将】【意】 働く生活②～資格のこと～自動車免許、ヘルパー、漢字検定など(7) 【情】情報収集と活用【将】進路計画【意】目標設定、自己調整	・高3夏季実習	
9月	余暇をみんなで楽しもう、広げよう②(8)【人】他者理解【将】生きがい・やりがい【意】選択、自己調整 ・スポーツ ・読書 ・音楽 ・調理 ・携帯電話 ・パソコン …自分たちの興味関心に基づいた計画と実践。	職場見学②(12)【人】場に応じた言動【情】働くことの意義	職場体験②(12)【人】自己理解【情】働くことの意義	・職業ガイダンス(高2、保護者) ・職リハ移行ケース会議(高3担任) ・移行支援ネットワーク会議	
	進路ガイダンス～後期現場実習に向けて(2)【情】情報収集と活用、働くことの意義	職業ガイダンス～秋田障害者職業センターの方を招いて(2)【情】情報収集と活用【将】習慣形成、進路計画	職場のマナー(実践編)(8) ～進路先に応じて【情】働くことの意義【人】場に応じた言動		
10月	自分を知ろう、友達を知ろう(8)【人】自己理解、他者理解、【意】肯定的な自己評価、自己調整 ・中間自己評価 ・キャリアカウンセリング ・自分の得意なこと、好きなこと			・後期実習(2～3週間)	
後期実習事前・事後学習(24)【人】【情】【将】【意】 ※前期実習と同じ内容で行う。					
11月	職場見学③(12)【人】場に応じた言動【情】働くことの意義	職場体験③(12)【人】自己理解【情】働くことの意義	職場のマナー(実践編)(8) ～休憩、昼食【情】働くことの意義【人】場に応じた言動	※比叡祭のため時数減	
12月	でかけよう③(8)【人】意思表示、場に応じた言動【情】社会のきまり、金銭の扱い・管理、消費生活の理解、法や制度の理解 ・公共施設 ・レジャー施設 ・買い物(食品、生活用品、家電、その他) ・福祉関連施設 …段階や時期に応じて。			・高3冬季実習(必要に応じて)	
	健康的な生活③～睡眠(4)【将】習慣形成	楽しい生活③～休日(4)【将】習慣形成	でかけよう④(20)～シルバーエリア、障害者生活支援センターなど【人】場に応じた言動【情】金銭の扱い、情報収集と活用 働く生活③～消費生活(4)【将】習慣形成 冬季実習事前学習(3)【人】【情】【将】【意】		
1月	ボランティア活動をしよう(50)【情】働くことの意義【将】役割の理解と実行 (除雪、清掃(ビルクリーニング)、作業製品の寄贈、社会における自分の役割…など)			・個別の移行支援策定会議	
2月	職場見学④(12)【人】場に応じた言動【情】働くことの意義	職場体験④(12)【人】自己理解【情】働くことの意義	卒業後に支援してくれる人たち(4)【将】進路計画【意】選択(決定、責任)、目標設定、自己調整 職場のマナー(実践編) ～歓迎会、懇親会(8)【情】働くことの意義【人】場に応じた言動		
3月	余暇をみんなで楽しもう、広げよう②(8)【人】他者理解【将】生きがい・やりがい【意】選択、自己調整 ・スポーツ ・読書 ・音楽 ・調理 ・携帯電話 ・パソコン …自分たちの興味関心に基づいた計画と実践。			同窓会について(4)【将】生きがい・やりがい	
	進路希望調査(4)【将】進路計画【意】選択(決定、責任)、目標設定、自己調整	進路希望調査(4)【将】進路計画【意】選択(決定、責任)、目標設定、自己調整	働く生活④～卒業後の生活設計(8)【将】進路計画、習慣形成【意】選択(決定、責任)、目標設定、自己調整		

※赤は教科「職業」、青、オレンジ、緑は領域・教科を合わせた指導「生活単元学習」で取り扱うものとする。
 ※キャリア教育においては、他の教科、領域、領域・教科を合わせた指導においても取り扱う内容が示されているものがあるが、年間指導計画としての使いやすさを考慮し、ここでは明記しないこととする。
 ※()内の数字は時数を表す。
 ※キャリア発達に関わる4つの領域を、【人】人間関係形成能力【情】情報活用能力【将】将来設計能力【意】意思決定能力として示した。